

## 北部地区

開催日：令和5年5月8日（月）

開催場所：市民情報センター

参加議員：鈴木紹平、鈴木毅、阿部秀実、谷中恵子、関口正一、大島久幸

発言者 地区名	発言要旨	回答要旨
御成橋 1丁目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供が遊べる公園について、昨年市役所に御成橋の公園の草刈りをやってもらえないか電話したらいい返事がもらえなかった。子育てに力を入れている鹿沼市なのに、子どもたちが困っていると言ったらやってくれた。年に一度は草刈りをしてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの公園があり、多くの子供が困っていることはおかしいので要望していきたい。</li> </ul>
睦町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雨季から夏にかけて気象衛星雨雲レーダーなどは携帯でも見られる。9年前駐車場まで32件が床下浸水した。4年前は自宅も被害を受けた。今年の夏も心配である。4年前はほかに天神町も40cm浸水、国道も浸水し太陽堂パン屋、ローソンも20cm浸水した。菊沢コミセンに写真もあるので確認できる。旧市内の中條蒔蒔も水害は必ず受けている。</li> <li>・過日、市からハザードマップ素晴らしいのをもらった。この辺りは黄色で、3~5mの浸水想定区域であり、家屋倒壊のおそれがある区域。避難が大事なのはわかるが、根本的に黒川の水害はどうにかならないのか。</li> <li>・南摩ダムについて、送る側手前の取水口には、大芦側にもある。2m70cmの大きな導水管が掘られていて、来年完成予定。自治会連合会の視察の時に、台風時どの程度効果があるか聞いたら「焼石に水」と言われ、がっかりした。水位が下がることを期待している。</li> <li>・玉田町にも水が入っているが、睦町、朝日町、御成橋町だけでなくもっと上流から入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貴重な意見ありがとうございます。小藪川も12年前大変だった。ハザードマップは生命を守るのが1番。万一の時は避難してほしい。今までの激甚災害と違って改良復旧が認められ、根入れを深くするなど、今までよりは工夫している。</li> <li>・南摩ダムは普段の水は貯めるが、水害の時は溜めないと聞いている。どう効果が出てくるのかはこれから検証しないといけない。玉田から旧市内に流れてくる。今は使われていない水路の整備もきちんとやってもれえるよう市長に要望した。執行部にしっかり伝えていきたい。</li> </ul>

発言者 地区名	発言要旨	回答要旨
	<p>るのでは。決壊したらどうなるか想像できるはず。3～5m 浸水するのは心配で仕方ない。高台、山手の人はいいが、鹿沼市内はどうなるか心配だ。私は某市議、県議と佐藤市長、鹿沼土木に要望書を提出した。旧市内の抜本的な対策をしてほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・帝国繊維の前の自動水門無くなった。真ん中を抜いた。川ざらいもやってもらった。多少は良くなっていると思う。御成橋2丁目も心配なので対応を真剣に考えほしい。</li> </ul>	
文化橋町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木島堀から北。家の前は水利組合の川。睦町文化橋 川の境がなくてポールが発光するものがついている。買い物のお婆さんが転落した。冠水しやすく、家も駐車場は水でいっぱい。川と道路境がわからず、車も人も怖くて歩けない大きい道路ではないが危険な場所を知ってほしい。市でも見てほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大変危険なので議会に持ち帰って要望させていただきたい。</li> </ul>
坂田山3丁目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議員削減議会にお願いしたが否決されてしまった。役員会で正副議長から説明がり、1票差だったとのことで、一人が賛成に回れば変わったという状況。市民の願いだったので、否決はされたが継続審議してほしい。</li> <li>・148自治会、17の協議会、北部地区10町ある。議長は継続で審議していきたいとのことだった。秋には市議選があるが、改選後も自治会から要望を出さなくても継続審議してもらえるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議会改革特別委員会で慎重審議した中で、委員からは様々な意見が出された。現状1名欠員の23名で問題なく活動できている。「多くの地域から出てほしい」「20名に減らすべき」「若い議員も議員になってほしいので、生活できるよう報酬を増やし、なり手を増やすべき」等の意見があり、議長に報告した。</li> <li>・統一地方選挙でも投票率上がらない。議員の担い手不足が叫ばれる中、真に鹿沼市のために働く議員が選ばれることがベスト。定数は何人がベストなのか今後も話し合っていくべき。ますます人口は減るが、鹿沼市の面積は変わらない。議員の数、報酬、についても議会は自己改革を進めなければならない。引き続き議論していきたい。</li> </ul>
坂田山4丁目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鹿沼市はさつきの町なのに、市役所駐車場近辺のさつきが枯れていてみっともない。肥料をあげれば枯れないので、例えば市が</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見ているようで見ていなかった。今後は市と共によく見ていきたい。</li> </ul>

発言者 地区名	発言要旨	回答要旨
	<p>作っている肥料をあげればいいのか。議員は誰も気がつかないのか。</p>	
<p>坂田山 3丁目</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子高齢化、高齢者が増えている。北部地区の敬老日には75歳以上の方が1,100名ほどいる。空き家が増えて、坂田山の一人暮らしも増えている。昨年3名孤独死して空き家になっている。各町内同様だと思う。市も解体費の一部補助している中で、さら地も増えて街中が活気ついていない。空き家についてどう思っているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鹿沼市も極端に人口が減ってくる。減少速度を緩やかにするためにも移住定住、子育て支援、人口減少に歯止めをかける施策を提案して行きたい。子育て支援頑張っていた明石市の泉市長は暴言で辞職したが、市民に慕われていた。それぞれの地域にあった施策をやっていききたい。</li> <li>・空き家の軒数は1,500から1,800を超えて、8年で300増えている。固定資産税が6分の1軽減になるからわざと残しているため空き家は増えてしまう。例えば那須塩原市では行政がリノベーションすれば20年間住めば空き家をあげるという施策をやっている。公共交通、スーパー、病院等のインフラが整っていないと若い人は住むのは難しい。</li> <li>・4月から国庫帰属法が施行されます。空き家相続放棄できるようになり、国(法務省)が管理することになる。あまりにもひどい空き家は行政が何らかの手を差し伸べて贈与することはいいこと。</li> </ul> <p><b>【追加説明】</b> (相続土地国庫帰属制度) 相続等により土地の所有権を取得したものが、法務大臣の承認を受けてその土地の所有権を国庫に帰属させることができる制度。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・抜本的な施策をしていかないとダメなので市民の皆さんの声をまとめていきたい。</li> </ul>
<p>戸張町</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民へのサービスが低下している。ゴミの持ち込み有料化、瓶の回収が月一回に、リーバスの運賃値上げ、がん検診一部有料化など。特に瓶の回収を毎週していたのに月1回になってゴタゴタしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持ち込みごみの有料化は市民に公平に負担してほしいとのことで言い続けている。説明不足もありコンテナの中にずっとゴミが置かれたままのところもある。</li> <li>・実施までが早すぎた。もっと時間をかけて丁寧に意見を聞くべきだったのではない</li> </ul>

発言者 地区名	発言要旨	回答要旨
		<p>か。議会としてもどんどん質問をぶつけて市に要望していきたい。</p> <p>・市も困っている。ゴミ袋を有料化した当時は一時的にゴミの排出量が減少したが、燃やすゴミは上昇に転じている。リサイクル率も下がっているなので、高めてほしい。市民サービスと両建てで行うべき。</p>

## 菊沢地区

開催日：令和5年5月19日(金)

開催場所：菊沢コミュニティセンター

参加議員：橋本修、梶原隆、大貫桂一、石川さやか、市田登、横尾武男  
大島久幸議長

発言者 地区名	発言要旨	回答要旨
見野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少対策ということで、令和元年ごろに鹿沼市都市計画法に基づく開発行為の許可基準に関する条例ができた。人口減少の著しい区域、市街化調整区域、地域コミュニティの維持を図るということで市内の4地域を選定して、特に児童の少ない地域を選定して、家が建てられるような取り組みをしていただいた。自治会として対応を考えていたが、コロナになってしまい、また、物価高もあって、なかなか家も店も新しく建っていないという状況である。</li> <li>・せっかくの指定区域なので、なんとか所期の目的を達成したいと思っている。コロナもある程度改善される中で、また原点に戻ってPRしながらやっていきたい。ご助言をいただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画法と建築基準法の両方が関係してくると思う。菊西小付近が緩和されたから、家を建てたい方は手を挙げていただければ、調整区域でもそこに家が建てることができるという法律になった。</li> <li>・ただ、条例を作っただけでその後のPRが不足している所もあると思う。そういったところをもう少し力をいれて、菊西小付近に優良な住環境があるので、「どんどん家が建てられますよ」というPRを働きかけたいと思う。貴重な要望ありがとうございます。</li> </ul>
千渡	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会活動をやっている課題と思うことがある。それは自治会の加入率の問題なのだが、加入率が低いとどうなるのかは、はっきり分からないが、地域活動の活性化を図るためには加入率の促進を図っていく必要があると思っている。そういった状況の中で自治会連合会の中でも特別委員会が設置された。その特別委員会の中で、加入促進に向けた調査研究をしており、さいたま市の視察研究をしたり、昨年度は、愛知県刈谷市の議員が、鹿沼市に加入促進についての視察研修に来た。自治会連合会で加入促進について調査研究をしているの</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貴重なご意見をありがとうございます。これについてはどこの地域に行っても「自治会に入らなくなってしまった」「減ってしまった」という声は聞こえてくる。我々の地域もそうだが、自治会もそうだが、お祭りなども入っていると年会費を取られるということで、「そういうのも辞めます」という状況もある。</li> <li>・我々が小さい頃は、地域や部落が一緒になっているんなものやってきましたが、今は正直言ってバラバラな状況の中で、隣の家に誰が住んでいるのか分からないような、そういう地域もあると感じていて、</li> </ul>

発言者 地区名	発言要旨	回答要旨
	<p>で、連合会の特別委員会と刈谷市の議員で話し合いをした。その時にやはり鹿沼市や千渡地区と課題が同じだと感じた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さいたま市に行った時も感じたが、自治会の活動について特に地域会員の方々は十分に理解されていないのかなと、我々としては広報誌を発行して会員の方々に配っているが、非会員には届かない。結局は会員を対象にして我々は活動している状態だから、非会員に対してのPR活動が充分に出来ない、ある意味自力ではなんとも解決できない状況ができています。刈谷市の議員と意見交換したときも、さいたま市でも同じ状況の話があって、やはり現在自治会として取り組んでいる活動状況などの話を、特に非会員の方々にPRするような場を設ける必要があるのではないかと、その場をどこに求めたらいいのかが。</li> <li>・「他力」、自力ではなんともできない面を行政に補ってもらおうと言うか、あるいは議員にもご理解いただいて自治会の取り組みの状況を、特に非会員に向けたPR活動をやっていただけるとありがたい。</li> <li>・我々が取り組んでいくべきこともあるが、なんとも手が届かないものがあるので、そういった意味で、現在自治会活動が止まっている状況なのだと思う。恐らく活動の内容を知ってもらえば、「やっぱり大切なんだよな」と分かってもらえる。それはメリットとかデメリットとかそういう問題ではなくて、地域活動を推進するためには、特に自治会活動が先導的な役割を担っているのではないかという思いもあるので、自治会としてかかえている課題をお話しして、できれば審議いただけるとありがたい。</li> </ul>	<p>入会を拒むというか、入らないということもあるかと思う。今お話ししたように、自治会とか議会とかが、そういう地域のいろんな流れをやっていかななくてはいけない時代に入っていると思うので、そういうことも含めて、取り組みを一緒になってやっていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この問題は一般質問で何回もやっているが、やはり自治会費が地域によって差があって、どうしても高齢になってくると払えなくなる。私の地元もそうだが、役員をやりたいくないというような意見が多かった。</li> <li>・議会と一緒に取り組む課題ということで、特に一番困っているのはゴミ出しである。ゴミステーションを自治会で掃除したりするが、非会員になるとそういう情報も入ってこない。全国の先進事例を見ると、一回50円、100円という形で自治会にお願いするという事例もある。ある地域では、ついだから何軒か軽トラックで回るといった話も聞いている。そんな取り組みで、やはり出来るだけ入っていただいて、どうしても役員がやりたくないとか、自治会費が払えないってことは、これからはある程度「免除」という形も必要な気がしている。</li> <li>・私も12、13年自治会長をやっていたが、街の中で50戸ぐらいしか世帯がないので、全員の顔から様子が分かるような地域だった。千渡地区はきっと4,000世帯ぐらいあって、とても把握しきれないのだと思う。そんな中で地域の人に自治会活動を理解してもらうには、本当に一軒一軒歩きながらご理解をいただくことだと思う。特にアパートや分譲地が多いと、「アパートのオーナーや分譲した会社がきちんと自治</li> </ul>

発言者 地区名	発言要旨	回答要旨
		<p>会活動に参加していただくような説明をして販売してくれればありがたい」という気持ちもある。人数や世帯が少ないところでも、やっぱりアパートの人は自治会加入のハードルが高い。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市でも、行政情報をいかに伝えるかが課題で、最近では、コンビニエンスストアにも広報誌を置くようにしている。自治会に入っていない人も広報誌を手にとって、自らも情報を手にするような活動をしてほしいが、もちろんそれは、鹿沼市全体の情報は載っているけれども、各地域の情報はそれぞれの自治会の活動の中での回覧とか、そういったものに頼らざるを得ないと思う。議会としても自治活動、加入率促進という問題意識があり、一般質問で何度も質問されている。貴重なご意見をいただいたので、いかに地域の住民に自治会の仕事を伝えるか、行政も一緒になってやれば良いと思うので、広報誌のページを工夫しながらできるように要望できたらと思う。</li> </ul>
玉田町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・菊沢地区は大きく分けて、黒川をはさんで西と東に分かれていて、環状線が大動脈のような形になっている。しかし、環状線、鹿沼街道が、ここに突き当たったままになっている。西のほうは途中でぶつかったままになっていて、環状線が未完成ということなので、やはり菊沢地区についても、平成橋からぐっと突き抜けるような形にしてもらえれば、いろんな面で利用しやすくなると思う。要望となってしまうが、よろしく願いたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私もまったく同じ意見で、平成橋から北鹿沼駅まで、今回の土地改良を含めて、あそこを抜く計画はある。たぶんそこに居住区を作れば負担がほとんどないのではないかと、負担なく土地改良ができるのではないかと、というような意見も出ていた。鹿沼市だけでは無理なので、市と県が協力しながらあそこを抜いて、実際は環状線本当に県内で環状線で繋がってないのはたぶん鹿沼だけだと思うので、あそこから日吉町経由で、県や市に何回か繋げてほしいと要望しているが、実際、市のほうで計画道路を、ここは道路が抜けますよって形で作らなくてはいけないが、まだ出来てない。</li> </ul>

発言者 地区名	発言要旨	回答要旨
		<p>・これから我々の仕事かと思うのだが、環状線を繋げるために、今いろいろと、県や国の補助をいかにもらって繋げていくかということをやっている最中である。本当に貴重なご意見ありがとうございました。</p> <p><b>【訂正・追加説明】</b></p> <p>県内には6市に環状線（環状道路）があり、どの市においても国道や市道、その他の道路を含めて環状線と呼ばれています。本市においても、環状線の計画はほぼ完了しており、鹿沼市だけが繋がっていないという状況ではありません。</p>
武子	<p>・武子自治会の現状として、4年前は201世帯、今年が173世帯、わずか4年の間にこれだけ自治会を辞めたということ。原因としては、先ほどあったように「役員やるのが嫌」というのもあるが、武子の場合は、市街化調整区域なので、基本的に家が建てられないので人口増えない。人口が増えない中で、住んでいる方の高齢化がどんどん進み、高齢者の単身世帯、お一人の高齢世帯が増えてきている。そういう方はほとんど自治会を辞める、班長とかができないので大体辞めていく。そういったことが原因で、武子地区自治会は会員が減っている。</p> <p>・なぜ今それを問題視するかというと、武子地内に防犯灯が168灯あるが、防犯灯をLEDに交換してから10年経ちLEDの交換が始まっている。そうすると、ざっと試算しても150～200万円ぐらいの支出を考えなければならない。そうなった時に、今、自治会の会員から預かっている会費で自治会をまわしているが、自治会の会員数が減れば減るほど、収入が減ると、</p>	<p>・これについては、議会の中でもそういう話が出ている。我々議員がここで決断をするとか、「やります」ということはできないので、執行部へ話を挙げて行って、協議をしてもらう。ほかに栃木市など完全にそういう形でやっている地域があるとすれば、鹿沼市でも受益者負担という形でいろんな事業をやっていくのが大変だということも分かっているが、そういうことも含めて執行部と協議をして、あとでお知らせをしたいと思う。</p> <p>・おそらく、市が1/2の負担、自治会1/2を負担していると思う。ここにきて電気代がかなり高騰しており、補正予算でもだいぶ電気代補助に回しているが、自治会が半分を負担する。LEDになっていくらか電気代も少なくなったと思うが、電気代の高騰も含めて、今の意見も併せて、早急に検討しなければならない問題だと思う。執行部のほうにしっかりと話をしたいと思う。</p>



発言者 地区名	発言要旨	回答要旨
	<p>支出に耐えられなくなる。そうなった時に、そういったものの負担が原因となって辞める方が増えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・そういうことを考えていくと、一つは栃木市の例だが、栃木市は防犯灯を市で管理している。鹿沼市は自治会で管理している。それを鹿沼市も市で管理するということを検討できないだろうか。</li> <li>・今言ったように、武子の場合、まだまだ減ると思う。なぜかと言うと、世帯が増えないから。新しい家が建たない、高齢化が進む一方、ということは新しい会員も増えない。そうすると収入もない。武子集落センターの維持管理、防犯灯の維持管理、そういったものもある。武子集落センターも水害に2度あっている。それによって床に影響が出始めている。数年たったときには集落センターも直さなくてはいけない。そういったことを考えると、もう自治会の問題というのは解決できなくなるのではと思う。</li> <li>・防犯灯については電気代の補助もらっているけど、それだけでは済まない。「あそこが暗いから防犯灯をつけてくれ」と言われても、「そうですか」と簡単に言えない。今言ったようにもう切羽詰まっている現状なので、そのへんを踏まえて市のほうで検討していただきたい。</li> </ul>	
千渡	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域では第2層協議会の会長をしている。総務常任委員会の調査報告として「地域共助型生活交通の導入をもっと積極的に進めて行く」とご紹介あったが、これに関することで、地域包括ケアシステムの中で住民がどういうふうに地域のサポートをしていくか、我々菊沢地区の中では輸送サービスをテーマとして「スマイルきくさわ」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の交通については、菊沢地区だけではなく、ほかにもいろんな地域で問題を抱えていて、去年の総務常任委員会で提案をいろいろまとめた。地域共助型生活交通が県でも推進されていて、菊沢地区では高齢福祉向けということで「きくさわスマイル号」を先進的に行っているが、一般の人でも利用できるのがこの地域共助型生活交通</li> </ul>

発言者 地区名	発言要旨	回答要旨
	<p>を結成して4年目に入っている。ここに至るにあたっては、住民の方のヒアリングもしながら進めたのだが、今高齢者の足の便について大変困っている。リーバスや予約バスが運営されているが、それでは中山間部とか、あるいは菊沢地域なんかも、「最寄りのバス停が遠い」とか、「なかなか買い物しても荷物を持ってバス停まで行けない」とか、あるいは通院といった問題があって、今我々菊沢としては「きくさわスマイル号」ということでボランティアでやっている。これは4年目になるが、こういった地域共助型生活交通導入ということで、この辺がどういうふうに進展しているのか、もう少し高齢者に利用できるような仕組みを、鹿沼市全体として作っていくべきではないかと考えている。その点についてご意見いただきたい。</p> <p>・中身は、困っている方の気持ちをフォローアップして、どうしていけば解決するのかということ。それから具体的に、いつごろまでにどうするのが見えないとなかなか難しいと思っている。そういったところを、行政を含めて進めていただきたい。</p>	<p>ということなので、それを推し進めていきたいということで提案している。鹿沼市では、今年くらいからどこかで実証実験を始めて行きたいということが計画としてあって、その計画の実証実験をもって地域に広げていく予定である。この地域共助型生活交通も、運転手はボランティアで地域の人がやってもらい、停留所もある程度地域で決めて運営していくものであり、今の課題に対してはこの取り組みをしていくしかないのかなと思います、提案をしたところで</p>